



テストの見直しをしよう！

立冬を過ぎ、暦の上では冬を迎えました。少し前まで半袖で過ごせそうなほど温かった気温も、このところ朝晩を中心に下がってきました。体調管理にますます気を配っていきましょう。

さて、14日には2学期の中間テストが行われました。ほとんどの人はしっかりと授業の復習をして臨めたことと思いますが、中には準備の時間が足りなかった人もいたかもしれません。今週・来週とテストが返されますが、必ずテストの見直しをしてほしいと思います。今回は「テストの見直しの効果」について、本などを参考にご紹介します。ぜひご家族みなさんで読んでいただき、参考にしてください。

《テストの見直しの効果》

1 なぜ間違えたのかがわかり、同じ問題がでてきても解けるようになる。

間違えた問題を分析すると、

- ① 解き方を理解できていなかった
- ② 見たことはあるはずなのに解き方を間違えてしまった＝分かったつもりになっていた
- ③ スペル間違い、計算ミスなどのケアレスミスをしていた



この中から、自分がどのタイプで間違えてしまったのかを確認するようにしましょう。解き方が分かっていなくても、たまたま正解した場合もあるため、正解した問題もチェックしましょう。

では、それぞれのタイプでどのように対策をすればよいのかを考えてみましょう。

① 「解き方を理解できていなかった」場合

「そもそも解き方が分かっていなかった」という場合は、基本から覚え直す必要があります。もう一度、授業やノートや教科書の見直しをし、それでもわからない場合は、友達や先生に聞いて分かるまで教えてもらいましょう。

② 「わかったつもりになっていた」場合

できるつもりになっているのに問題を間違えてしまったのは、授業での理解が十分でないのが原因です。授業で理解した知識を定着させるために、まずは教科書を見直して問題を解き直すだけでなく、問題集などの類似問題を解くようにしましょう。また、自分が覚えた知識などを友達に説明してみるのもオススメです。誰かに説明することで、知識が定着するだけでなく、自分があやふやになっていることにも気付くことができます。

③ 「スペル間違い、計算ミスなどのケアレスミスをしていた」場合

ケアレスミスが多い人は、テスト中に焦っていることが原因かもしれません。余裕をもってテストを受けられるように、家庭学習をする時にタイマーを用意して目標時間を設定するなどして、焦らないように慣れておきましょう。また、テストの問題を解き終えたら見直しをする時間もとれるように、時間配分を考えることが大切です。英語のスペルミスや漢字間違いが多い人はそもそも正しい表記を覚えきれていない可能性もあるため、まずはしっかりと覚えることを心がけて勉強しましょう。

2 学習習慣がつき、やる気の維持につながる。

テストでできなかったところが、上の対策を行うことで「今までできなかったところができるようになった」と変わってくれば、テストの点数も上がるし、自信もついてきます。それが更なる成績アップを目指しての勉強のやる気へとつながれば、良い循環ができ、ますます成績アップにつながります。

3 高校入試対策の準備になる。

定期テストの復習は、高校入試対策にも効果があります。一般的には中学3年生から高校入試への対策が始まりますが、そのほとんどがこれまでの苦手分野の克服です。中学1年生、2年生の段階で定期テストのたびに復習し、苦手をなくしておけば、中学3年生になってからの高校入試対策がしやすくなります。苦手の克服をコツコツと行うことで、いつの間にか入試対策がしっかりとできているのです。

《絶対しよう！テストの見直し》

『中学の勉強のトリセツ』梁川由香著（学研プラス）より

テストが終わったらまず復習

テストが終わると「ふーっ」とひと息ついてしまうと思いますが、あともうひと踏ん張り！緊張の糸が切れないうちに、復習をしましょう。

テスト中に印をつけた、わからない問題・自信のない問題については、問題集やプリントなどを調べて答えを確認しましょう。答えがわかったら、もう一度自力で自習用ノートに解答を作ってみます。これをすべての教科でやりましょう。

解けなかった悔しさや、何が答えだったのかと知りたい熱意を持って復習すると、その知識は「あのとき悔しい思いをした問題」として脳に強く定着します。テストの返却を待つ間に悔しさや熱意はうすまってしまいますので、できなかったところはテスト直後に振り返るのが鉄則です。

返却後は振り返りを

テスト返却後は点数ばかりに意識がいきまがちですが、結果だけに注目せずに勉強のやり方も振り返りましょう。

目標に達しなかった教科は勉強のやり方をどう改善したらよいか、目標に達した教科については何がよかったのか、全体を振り返ってみて各教科の勉強時間の配分は合っていたかなどを振り返り、次回のテストに活かすようにします。

COLUMN コラム [それ、本当にケアレスミス?]

テストでは、「解けたはずだったのに間違えた」ということがありますよね。この場合、

- ①自分が理解したと思っていたことが間違っていた、
- ②答案にする際に何かのミスをした、のどちらかです。

②の場合はケアレスミスかもしれませんが、①の場合はケアレスミスではないので、すぐに理解をし直さないといけません。間違ったままにしている、次も同じ間違え方をするからです。

できたはずの問題を間違えると、「あー、ケアレスミスをした」と言う人がいますが、なんでもかんでもケアレスミスにしてしまい、しっかりと振り返らないのは大問題。ケアレスミスなんて、1回のテストでせいぜい1個か2個です。それ以上ある場合は、自分の実力不足だと考えてしっかりと復習し直しましょう。

テスト直し期間（11/24（金）まで）

陽西中学校では、中間テストのやり直しをする期間を設けています。テストで間違ったところを中心に、自主学习ノートにやり直しをして、次の日に自主学习ノートを提出してください。

テストの見直しをすることは、とても大切なことだということが伝わったでしょうか？これからは定期テストに限らず、単元テストなどでもやり直しを心掛けてみましょう。「できなかったところができるようになる」こと。それが成績アップの1番の近道です。

